529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

やどりき水源林ニュース

発行（公財）かながわトラストみどり財団　　編集　NPO 法人かながわ森林インストラクターの会
〒２２０－００７３　横浜市西区岡野２―１２－２０　神奈川県横浜西合同庁舎内
☎０４５－４１２－２２５５　URL:http://www.ktm.or.jp　　E-mail: midori@ktm.or.jp

やどりき水源林・森の案内人（定期）観察会のお知らせ（費用等負担はありません）

毎週土曜･日曜の午前１０時と午後１時から「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季（１２月・１月・２月）は安全確保のため休止します。

夏鳥の観察で寄バス停から秦野峠林道白水橋手前までを歩きました。ウグイス、オオルリ、キビタキ、ホトトギスなどのさえずりが聞かれ、上空には猛禽類（クマタカ？）もいました。見聞きした鳥は 32 種と多かったです。上の写真はその時に出合った生きものたちです。

夏鳥は繁殖と子育てのために豊富な餌を求めて東南アジアなどの越冬地から危険を冒して遠い日本に飛来します。植物の新葉に集まるたくさんの昆虫やそれを狙うクモが餌になるからです。葉を食べる虫たち、虫たちを食べる小鳥、小鳥を食べる猛禽類。夏鳥の観察をとおして、いのちのつながり「食物連鎖・しょくもつれんさ」を実感することができました。

白い色が際立つ水源林

若葉は日ごとに深緑になり白い色が目立ちます。

ウツギ（アジサイ科）

イボタノキ（モクセイ科）

マタタビ（マタタビ科）の葉

卯の花の過ぎば惜しみか霍公鳥雨間も置かずこゆ鳴き渡る　大伴家持　（「万葉集」巻 8-1491）

＊卯の花はウツギの花のことです。意味は、『卯(う)の花が散ってしまうのが惜しいと思ったのか、霍公鳥(ほととぎす)が雨(あめ)の間にもここを鳴きわたっています。』です。
梅雨時の水源林で万葉の頃と同じ風情を感じることができたら素敵ですね。

＊＊

森の案内人　特別企画

やどりきの森へ行こう！

第１回テーマ

緑したたる森で癒やし体験 6月2日(土)

ハンモック

木伝導

オリエンテーション

参加者 42 名（大人 34 名、子ども 8 名）が癒やし体験をしました。沢の音を聞きながらハンモックの心地よい揺れを感じ、木伝導で水の音を聞きました。次にハーブティを飲み、腹式呼吸を習い、草木の香りを楽しみ、寝転んで空を見ました。最後に滝郷の滝のマイナスイオンを浴びて、ゆったりした時間を楽しみました。

樹冠と空を見る

風を感じる…「ヤッホー！」

森の癒やし体験では、●日頃の疲れを癒やし、●健康増進、●家族のコミュニケーションをつくるなどの効果があるとされています。
ご家族連れやご夫婦で参加された方も多く見受けられ、特に子どもさんの反応の良さに感心しました。森の楽しみ方もいろいろです。

滝郷の滝

●6月の水源林

梅雨の季節になりました。私たちの暮らしを賄う水は、水源林に降る雨と、森林のはたらきにかかっています。水源の森林をじっくり観察してみましょう。

●7月の水源林

梅雨が明けるとやどりき沢は水遊びや水生生物の観察でにぎわいます。

＊＊やどりき水源林にお出かけください。森の案内人がお待ちしています。＊＊

（NPO 法人かながわ森林インストラクターの会　やどりき水源林「森の案内人」情報発信グループ　１６３号 担当　内野 ミドリ）